

R.6 1月実施

4名対象(内訳 児童発達支援管理責任者:1名/保育士:2名/指導員:1名)

※8、13、16、20、33、36の項目については児童発達支援管理責任者の業務である為、保育士、指導員の回答無し

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	・利用人数やメンバーによって室内を上手に使い分け、活動するようにしている。 ・屋内、屋外で分かれて支援を行い調整している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	・毎月適切な人員配置が組まれている。
	3	事業所内の支援環境について、利用児童にとって構造化され、過ごしやすい環境となっているか	3	1	0	・身体を動かしたい子どもはプレイルーム、静かに過ごしたい子どもは机と椅子のある場所に分かれて過ごすことが出来る。 ・プレイルームと学習室の間の壁が無くなったことによって、プレイルームで遊ぶ音が学習室に聞こえてしまう。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・ミーティングや支援後に情報共有し、次の支援へ繋げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	・保護者様の意見を真摯に受け止め、改善したり、より良いサービスを心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	・ホームページで公表し、お便りと共に集計結果を配布している。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・毎月事業所内研修にて知識向上を行っている。 ・外部研修にも参加している。
	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	0	0	・適宜保護者様と情報交換を行い、日々の状態から計画を立てている。
適切な支援の提供	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	0	・標準化されたアセスメントツールは使用していないが、ビジョントレーニングのツールやLDプリント等使用している。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	・ミーティング時に話し合っている。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・日々の状況によって、外活動や工作等変化させている。 ・直近で似ている活動が無いか、話し合いながら立案している。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	・長期休暇時は早めに計画を立て、念入りに確認を行っている。

適切な支援の提供	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	0	0	・利用時等の状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた項目を設定し、計画を立てている。
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	・ミーティング時に話し合っている。 ・1日のタイムスケジュールを立て、情報共有し、スムーズに切り替えが出来るようにしている。
	15 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	・正社員間だけではなく、アルバイトやパートとも共通認識を持ち、検証・改善に務めている。 ・記録の際、他職員の情報も交えながら、日々の記録を残している。
	16 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	0	0	・必ず6ヶ月毎に計画の見直しを行っている。
	17 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	0	0	・ガイドラインには目を通し、必要な時は再度確認をするようにしている。
	18 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	・子どもの状況によって会議を開催し、しっかり参加出来るよう状況を整えている。
	19 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	0	・お便りやお迎え時等に確認し、情報共有を行っている。
関係機関や保護者との連携	20 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	0	0	・就学前に利用していた児童発達支援事業所と情報交換を行っている。
	21 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	
	22 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	・発達障害を専門とする講師の方の研修に参加している。
	23 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	0	・公園等、事業所外の子どもたちと交流する機会がある。 ・公園等にて地域の児童と遊ぶことはあるが、積極的には行えていない。
	24 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	・長崎市こども部会研修会に積極的に参加している。 ・管理者が定期的に参加し、職員へ報告している。
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	・送迎時や電話、LINE等で話をし、共通理解を持つよう心掛けている。 ・送迎時、日々の状況を保護者様に伝え、相談等伝えてもらうようお話をしている。
	26 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	0	・保護者様よりご相談等を受けた際は、どのような捉え方や考え方をしたら良いのか見解を示している。

保護者への説明責任等	27 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	・見学や面談、契約時に行っている。
	28 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	・悩み等が聞かれた時は、送迎時や電話、LINE等で行っている。 ・送迎時に、何気ない相談にも職員間で共有し、支援を行っている。
	29 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	—	—	—	
	30 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・苦情は無いが、ご意見やご要望があつた時には速やかに対応している。
	31 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	・毎月お便りにて刊行している。 ・月初めにお便りにて日々の状況、予定等を発信している。
	32 個人情報に十分注意しているか	4	0	0	・鍵付きのキャビネットに保管し、管理している。
非常時等の対応	33 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	0	0	・契約時に配布しており、スタッフ間で確認を行っている。
	34 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	・年2回避難訓練を行っており、そのうち1回は消防署立ち合い訓練を行っている。 ・災害を想定し、子どもも含めて定期的に訓練を行っている。
	35 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	・年2回事業所内研修を行っている。
	36 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	0	0	・現在、身体拘束を行わなければならない児童はいないが、身体拘束を行わなければならない状況になった場合は、身体拘束適正化委員会を開き、適正に対応出来るようにしている。
	37 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	・アレルゲンを含まないおやつを準備している。
	38 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	・ヒヤリハットがあつたその日や翌日に必ず共有している。 ・ヒヤリハットを共有することで、大きな怪我がないよう注意している。

